

房総発見伝

in

狂言

抱腹絶倒ちばわらい

舞台を彩る仮面たち。
千葉県民や千葉大生の
手作りです。

第1部
● 口上
「新千葉笑い」から
「抱腹絶倒ちばわらい」へ
橋本裕之

● 創作狂言
「抱腹絶倒ちばわらい」
太郎冠者／小笠原匡、大名／野村扇丞
立衆／中本義幸・泉慎也
その他／千葉県民・千葉大生
作・演出／小笠原匡、監修・考証／橋本裕之
協力／三条会・若菜の会

第2部
● トークショー
「房総発見伝 in 狂言」
小笠原匡・橋本裕之ほか

● 創作狂言
「千葉の羽衣」予告編
小笠原匡ほか

平成19年 2月25日(日)

開場13:30／開演14:00

千葉県文化会館 小ホール

千葉市中央区市場町11-2

入場料 2,000円
全席指定

プレイガイド

① 千葉県文化会館 TEL 043-222-0201 ② 青葉の森公園芸術文化ホール TEL 043-266-3511 ③ 三越友の会千葉店 TEL 043-224-3131
④ 千葉市文化センター TEL 043-224-8211 ⑤ 千葉市市民会館 TEL 043-224-2431 ⑥ 千葉市若葉文化ホール TEL 043-237-1911 ⑦ 千葉市女性センター TEL 043-209-8771

主催 千葉県・財団法人千葉県文化振興財団・千葉大学文学部日本文化学科橋本裕之研究室

制作 千葉大学文学部日本文化学科橋本裕之研究室 千葉大生による制作日誌公開中! <http://tibakyogen.exblog.jp/>

後援 千葉大学・NPO法人観光立県支援フォーラム・NPO法人フォーエヴァー・社団法人千葉県観光協会・社団法人千葉市観光協会

お問合せ 青葉の森公園芸術文化ホール TEL 043-266-3511



花と海 心やすらぐ千葉の旅

「新千葉笑い」から 「抱腹絶倒ちばわらい」へ

橋本裕之

昨年の12月に千葉市文化センターで上演された「Let's Create 狂言—新千葉笑い—」。「新千葉笑い」はいかにして「抱腹絶倒ちばわらい」へと進化を遂げたのか。その軌跡を紹介します。

創作 狂言

「抱腹絶倒ちばわらい」

太郎冠者／小笠原匡 作・演出／小笠原匡
大名／野村扇丞 監修・考証／橋本裕之
立衆／中本義幸 協力／三条会・若菜の会
泉慎也
その他／千葉県民・千葉大生

太郎冠者のひそかな楽しみは、毎年大晦日に行われる「千葉笑い」。素性を隠した民たちが千葉寺に集まり、悪口雑言に興じて朝まで笑い明かす天下の奇習です。ところが、この地の殿様は千葉笑いを良く思っていない。家来の太郎冠者が千葉笑いに行っていると聞いた殿様は、太郎冠者を呼び千葉笑いについて聞き出そうとします。これは厄介と考えてシラをきる太郎冠者に、殿様は用事を言いつけます。しぶしぶ承諾した太郎冠者でしたが、あきらめきれず千葉笑いへ向かいます。一方、疑いを捨てきれない殿様も、みずから仮面をつけ身分を隠して、同様に千葉笑いへ向かうのでした…。

トーク ショー

「房総発見伝 in 狂言」

小笠原匡・橋本裕之ほか

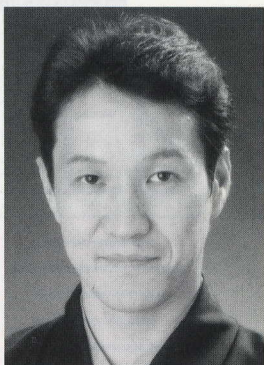
千葉発の狂言を創造する過程を紹介した上で、千葉県民や観光客のみなさんに千葉の魅力を発見する手がかりを提供したいと考えています。

創作 狂言

「千葉の羽衣」予告編

小笠原匡ほか

千葉県に伝わる独自の羽衣伝説に取材しながら、三保の松原を舞台とした能「羽衣」とも異なった、笑いのみならず人間味にもあふれた創作狂言「千葉の羽衣」の予告編を上演します。



おがさわらただし●1965年東京生まれ。初世野村萬(芸団協会会長・人間国宝)、故8世野村万蔵(演出家・劇作家)、9世野村万蔵に師事。すでに狂言の大曲である「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」を抜く。また、新作狂言「鉢かつぎ」などの作・演出を手がける。さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」「良忍さん」「石川五右衛門」などを作・演出する。愛知万博開催記念特別公演「ふるさとの四季」作・演出・主演。2005年はNHK大河ドラマ「義経」、2006年はNHK金曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導を担当した。現在、萬狂言関西支部代表、千葉大学非常勤講師、早稲田大学非常勤講師、佐渡「鼓童」講師。

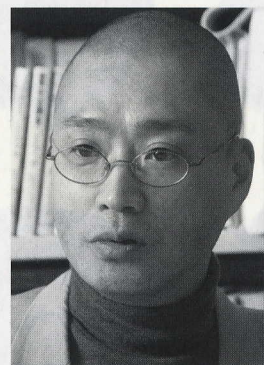
小笠原匡

和泉流狂言師

プロフィール

橋本裕之

千葉大学文学部教授



はしもとひろゆき●1961年大阪生まれ。早稲田大学大学院文学研究科博士課程芸術学(演劇)専攻退学。文学博士。国立歴史民俗博物館助教授、アイオワ大学人類学部客員准教授などを経て現職。専攻は演劇学・民俗学。近著に「演技の精神史——中世芸能の言説と身体」(岩波書店、2003年)、『心をそだてる子ども歳時記12か月』(講談社、2005年)、『民俗芸能研究という神話』(森話社、2006年)などがある。2005年、NHK大河ドラマ「義経」の芸能考証を担当した。

「房総発見伝 in 狂言」について

「房総発見伝 in 狂言」は、日本を代表する伝統芸能である狂言と千葉という土地が持つ魅力を融合させて、千葉発の狂言を創造するものです。実際は和泉流狂言師である小笠原匡、千葉大学文学部日本文化学科橋本裕之研究室、財団法人千葉県文化振興財団、そして千葉県が連携することによって、千葉県に伝わる民話や行事に取材しながら、県民参加型の創作狂言を制作します。今後の作品として「千葉の羽衣」や「鬼来迎」などを予定しています。狂言師のみならず千葉県民や千葉大生も参加するという意味においてユニークな試みであり、地域と大学が連携するプロジェクトとしても画期的な内容であるということができそうです。

千葉大生による制作日誌公開中! <http://tibakyogen.exblog.jp/>

